

セミナー企画書

ペホス(アプロクリエイト代表)

メール : contact@en-coach.com

【タイトル】

不適切なケアを引き起こすメカニズム（高齢者虐待防止研修として推奨）

【参加対象】

- 高齢者虐待防止研修として、基礎的な研修は実施しているが、さらに一歩進めた実践的な研修を取り入れたいと考えている法人
- 認知症がある利用者との関わりに難しさを感じている職員

【参加者が得られるメリット】

- 認知症がある利用者の対応に困る場面でも、冷静に状況を観察する視点が身に付く
- 怒りやイライラ等の感情に流されずに、適切に行動できるようになる

【コンセプト・概要】

医療や介護の分野で働く人は、資格取得の研修過程や入職時の研修で、「虐待は NG」ということは知識としても知っているはずですが、にもかかわらず、虐待は後を絶ちません。これは、人が正しさだけで自分の感情や行動をコントロールできるわけではないことを意味しています。

虐待を受ける対象として多いのは、認知症や高次脳機能障害等のコミュニケーションのとりづらさを抱えている利用者です。裏を返せば、虐待をしてしまう側は、利用者と思うような関わりができない場面で、自分のコントロールを失っている可能性が考えられます。

本プログラムでは、思い通りのコミュニケーションができない場面でも、自分を見失わずに関わるためのポイントとコツを示し、ワークを通してその感覚をつかんでいただきます。

【所要時間】

60分～90分程度

【内容】

- ① 不適切ケアの背景にあるもの
 - ・ K市で立て続けに起きた2件の虐待事件
 - ・ 「難しいよね」と行き詰る新人
 - ・ 「何がダメなの？」と開き直すベテラン

- ② 適切な判断ができなくなる「アップセット」
 - ・ 不適切な行動の背景にあるアップセットを発見する
 - ・ アップセットがおきる3つのきっかけ
 - ・ <事例>利用者が倒れている！

- ③ 利用者にもアップセットは起きている
 - ・ ケース1：「やめて！」と介護者の腕をつかんでくる時
 - ・ ケース2：「帰ります」と言ってじっとしてられなくなる時

- ④ 適切な行動を可能にする
 - ・ アップセット状態から自分が抜け出す方法
 - ・ アップセット状態の人（職員・利用者）を解放するコツ

【参加者の声】

- ・ 初めて聞く話でしたが、利用者さんにもアップセットが起きているという話は目からウロコのお話でした。教えてもらったことを、現場でも試してみようと思います。
(グループホーム職員・30代)
- ・ ヘルパーは何があっても自分で臨機応変に対応しないといけないので、アップセットの話は「あるある！」と思いながら聞きました。
(ホームヘルパー・50代)
- ・ 高齢者虐待の研修はいつものお決まりの内容だったけど、今回の研修は現場のこと、コミュニケーションに関することだったので面白かった。
(特養介護主任・40代)

【参加特典】

希望者に当日のスライド（PDF版）を進呈